



富士河口湖町

議会だより



第8回河口湖交流レガッタ
「体指はえらいんだー」チーム

- ◆ こういうことを決めました —— 2～3p
- ◆ 委員会報告 —— 4～6p
- ◆ ここが聞きたい 代表一般質問 —— 7～11p
- ◆ 特集 議会議員研修 —— 12～13p

**6月
定例議会**

こういうことを 決めました。

平成十七年第四回臨時議会が四月二十二日に、第五回臨時議会が五月二十三日に開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

第四回臨時議会 議案

・富士河口湖町一般会計補正予算

(第一号)

歳入歳出それぞれに六千五百九十九万三千円を増額し、総額を九十八億六千二十九万三千円とする。主な歳入は、庁舎等建設基金繰入金千二百二十二万五千円、合併特例事業債(生涯学習館建設事業債)五千三十三万円で、歳出の主なもの、公有財産購入費七百万円、補償九百万円、生涯学習館建設工事代六千四百万円です。

・鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員の選出

流石 勝
倉澤 敏一

第五回臨時議会 議案

・小立小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事請負契約締結について
契約の方法 指名競争入札
契約金額 一億二千七百五十五万円
契約の相手 株式会社コバヤシ工業

・富士河口湖町特定飼養等施設からの特定外来生物逸出防止、持出し禁止(生体に限る)及び監視指導員設置に関する条例

河口湖と西湖におけるオオクチバスを湖の外への逸出を防止し、持出すことを禁止する。またこれを徹底し、徹底するため監視指導員を委嘱して水産業の振興と町の発展に資するものです。



オオクチバス持ち出し防止監視指導員の腕章

監視指導員に町議会議員はじめ、関係団体八百十九名を委嘱して釣り客の方に広く周知し、オオクチバスの湖外への持ち出しを監視するとともに意識の啓蒙を図ることを目的としています。

表彰

五月二十日に山梨県町村議会議長会総会の席上で、第五十六回自治功労者及び退職役員の方の表彰がありました。

全国町村議会議長会(十五年以上)

渡辺 一正 議員

山梨県町村議会議長会(十一年以上)

梶原亥之雄 議員

白壁 賢一 議員

小佐野弘士 議員

山梨県町村議会議長会退職役員感謝状

倉沢 鶴義 議員

平成十七年第六回臨時議会が七月八日に開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

議案

・富士河口湖町と富士吉田市の間における一般廃棄物の処理に関する事務の委託に関する規約の変更

町と富士吉田市の間における一般廃棄物の処理について、旧勝山村分と旧足和田村分の処理を富士吉田市に委託する。今後経費の負担等について富士吉田市と協議を進めていく。

平成17年 第2回定例会 (6月)

平成十七年第二回定例議会が六月十三日から二十一日までの九日間開催され、次の議案が原案どおり可決されました。

第二回定例会

○専決処分等の報告及び承認

・ 税条例の一部を改正する条例

・ 収入役の兼掌条例に伴う関係条例の整理に関する条例

・ 温泉掘削工事請負変更契約締結

・ 平成十六年度水道事業会計予算繰越計算書

・ 平成十六年度大石簡易水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

・ 平成十六年度下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

・ 平成十六年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

○議案

・ 下水道使用料条例の一部改正

・ 文化財保護条例の全部を改正する条例

・ 船津財産区特別会計補正予算(第一号)

・ 小立財産区特別会計補正予算(第一号)

・ 勝山財産区特別会計補正予算(第一号)

・ 大嵐財産区特別会計補正予算(第一号)

・ 老人保健特別会計補正予算(第一号)

・ 一般会計補正予算(第二号)

・ 足和田西湖辺地に係る総合整備計画の協議

合併を期に、観光交流空間モデル事業において、西湖地区の目標像を「いやしの里原風景の創出事業」と掲げ、四季を通じてイベントを開催し、魅力ある観光交流の場として観光客を誘致し地域の活性化を図る。

整備計画は、平成十七年度に蝙蝠穴ギャラリー増築及び修景工事を八千二百十五万円の事業費で辺地債が八千二百十万円、平成十八年度にバスロータリー改修及び案内標識整備を九百万円で辺地債が九百万円、平成十九年度に公衆トイレの新築工事が三千百万円で辺地債が三千百万円となり三カ年計画で整備し事業総額一億二千二百十五万円となる。



蝙蝠穴ギャラリー

・ 生涯学習館・子ども未来創造館建設工事請負契約締結
契約の方法 一般競争入札
契約金額 九億七千二百九万円

契約の相手 株式会社 早野組

株式会社 加取

株式会社 梶原工業所

・ 特別町民の推薦

古屋 和雄

富士河口湖町特別町民に

古屋 和雄氏

推薦理由 小立地区出身であり、NHKに入局後アナウンサーとして活躍、現在エグゼクティブアナウンサーとして放送文化の普及と発展に努めている。

活動や著書の中で本町も紹介していた。活動や著書の中で本町も紹介していた。だき町の発展やPRにも大きく寄与し町のブレイクとして活躍を期待するものです。

○意見書

・ 富士山噴火防災対策促進についての意見書

・ 義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書

○議員提案

・ 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書

常任委員会報告

審議内容抜粋

総務常任委員会

委員長

副委員長

委員

朝比奈充知
渡辺余緒治

望月 幸子 堀内 勝

小佐野一久 梶原 忠雄

渡辺 慎次 渡辺 重寿

堀内 弘一 小佐野坦子

流石 市朗 駒谷 隆利

渡辺 武彦 白壁 賢一

・総務常任委員会関係補正予算

質問 情報推進費で安心安全情報共有システムの内容説明を求める。

情報推進係長 地方自治情報センターが昨年度二十団体を選考し実証実験を行ない、本年度共通のソフトが配布される。

内容は、町・警察署・消防署等からの防犯・防災情報をシステムに登録

所管全般

質問 個人情報保護条例の制定は。

総務課長 個人情報保護

しその情報を、町の関係職員や住民のパソコン・携帯電話に配信するものである。

法が四月一日施行され、罰則規定を含めた条例制定を九月定例会に提案予定である。

質問 合併に伴う合併支援助道路（船津小海線）の進捗状況は。

まちづくり管理監 都市計画街路船津小海線は、地権者が約百名おり、七月数回に分けて説明会を行なう。

今後、用地測量を七月末〜九月末に、十月には国の事業認可が下り、再度説明会を行なう予定。

質問 防災備蓄で「おむつ」と「ミルク」はどうなっているか。

管理課長 現在備蓄されておらず、新防災計画の下、設置を図っていく。

質問 災害弱者である身

体障害者・高齢者への町の対策は。

管理課長 先ず避難場所の仕切りやバリアフリー化、また、トイレについては、ポータブルの簡易トイレを設置しなければならぬと考えている。

質問 企業誘致した松山油脂の経営規模と内容は。

企画課長補佐 六月十日に地鎮祭が行なわれ、当初四十人（町内六人）で操業開始し、将来的には百名程の規模になる。

内容は、石鹼・（富士の伏流水を使った）化粧水の製造販売である。

質問 消火栓で、ここ四五年来に設置したものは頭が三六〇度回転するタイプになっているが、部分的交換が可能か。

管理課長 交換は難しい。回転式の消火栓は、あらゆる方向からジョイント可能な為、使い勝手が良く新規設置は全てこのタイプとする。

質問 河口分団へ配備される消防自動車の納車時期は。

管理課長 この消防自動車は、給水する水に対して体積が八倍の泡を噴射

することが出来るシステムを備えた最新式のもので、十月末頃納車予定である。

企画課長 近いうちに一社妥結されそう、また、それ以外にも数件問い合わせがある。

質問 職員の私用外出が目につくが、届けの提出等徹底しているのか。

総務課長 上司に申し出る事が原則となっているが、今後なお徹底を図っていく。

質問 防災無線放送の始めに内容に関係なく「防災富士河口湖」と入るが。

総務課長 防災無線は一町一回線として電波管理局で管理されており、電波法で義務づけられている。

要望 町の住民として意識を高めるためにも区・自治会加入者を増やす努力を求める。

広報誌の活字をこれ以上小さくしないで欲しい。

要望 有線放送（CATV）は視聴者が多く、町の状況が良く把握できると好評である、今後も充実した放送を望む。



松山油脂株式会社建設現場



回転式の消火栓

文教社会 常任委員会

委員長 小佐野 勝
副委員長 三浦 勇揮
委員 堀内 定 小林 博文
渡辺 周次 井出庄一郎
流石 安正 渡辺 満
三浦隆一郎 流石 利道
古屋 一哉 渡辺 岩次
三浦 準治 小佐野弘士
小川 清治

三十六万四千三百三十kg
で十五年度と比べると十
一万八百九十五kg増えて
いるが、十五年度は合併
時期であり、勝山、足
田の分が八万六千kg入
っている。報酬費は、三
百八十三万四千百十円
である。実施していない二
十七自治会に対しては、
各自治会を回ってお願い
していく。

るところである。普通の
自動販売機であれば県条
例に違反するが、自販機
でないところが焦点であ
るので広報等を利用して
呼びかけていく。

る。我が町の教職員は入
っていない。子供に対す
る初歩的な対応をしつか
りできるようなカウンセ
リング講習会等も含めて
実施していく。

健康増進課長 住民検診
生活習慣病は、年間を通
して実施している。病氣
の早期発見、早期治療の
ために検診は必要である。
事業は単独事業ではな
く、国、県から補助金を
いただき、検診を受ける
人からも負担金をいただ
いている。

・老人保健特別会計補正予算（第一号）

・文教社会常任委員会関係補正予算

・義務教育費国庫負担制度を堅持し教育の機会均等
及び水準の維持向上を図るための請願

質問 子供相談員は、相
当機能について評価も高
いが、船津小学校以外の
学校にも配置していただ
きたい。また、相談員が
学校に時々出向いて、積
極的に子供の相談に取り
組んでもらいたい。

所管全般

質問 資源ゴミ回収の区
自治会が何ヶ所でも実施し
ているか。その効果と、
実施していない自治会へ
の指導は。

環境課長 全体で六十四
自治会の内、三十七自治
会が実施している。三十
七自治会で、十六年度は

三十七自治会、十六年度は

質問 水曜日の窓口業務
の延長についての効果は。
総合窓口課長 昨年の十
月から六ヶ月間試行して
本年四月から実施してい
るが、まだまだ利用は少
ない。広報並びにCAT
V等を活用してPRに努
めたい。

質問 風俗の自動販売機
が設置されていて、教育
上好ましくないという意
見を聞くが、対応をどの
ようにしているか。

生涯学習課長 青少年の

町民会議を中心にして、
撤去について研究、要請
もしているが、合法か、
違法か、裁判で争ってい

質問 リユースセンター
の利用状況は。

環境課長 主な物が自転
車であり、机、いす、家
具類、ファンヒーター、
ストーブ、扇風機、タオ
ル、シーツ類、各種イペ
ントのジャンパー、食器
類、石鹸、洗剤、コーモ
リ等を扱い、十六年度の
持ち込み数は二百六十人
である。



質問 指導力不足の先生
の人数と対応は。

教育センター長 県の発
表で十五年度で八人であ

る。我が町には大小の
規模の学校があるが、長
所短所があるか。

教育長 規模の大小はあ
るが、教育活動の内容が
違うことはない。小規模
校では、きめの細かい指
導になるが、総合的にみ
ると大差はない。

質問 教育ビジョンの進
捗状況は。

教育長 策定委員会をつ
くったところであり、来
年三月一日の上九一色村
南部との合併を待つて出
版、配布する予定である。

質問 栄養士で長い人は
何年同じところにいるか。

教育長 異動の規定は、
五年で長い人でも五年か
ら六年である。

質問 検診で膨大な費用
がかかっているが、今後
の対応は。

かかっているが、今後
の対応は。



質問 老人保険の受給者
は何名いるか。平均医療
費はいくらか。一ヶ月に
かかる最高医療費は。
国保老人保険係長 十七
年五月現在で二千五百二
十三人である。十六年度
の医療費は十六億二千六
百万円である。一人当り
一年間で六十四万四千円
かかっている。最高医療
費は一千万円以上の人が
何人かいる。

産経土木 常任委員会

委員長 渡辺 勝利
副委員長 倉沢 鶴義
委員 渡辺 秀一 高山 泰治
 三浦 利信 三浦 洋恵
 小佐野 量 梶原多之雄
 在原 長一 渡辺 一正
 古谷 芳信 梶原 哲次
 梶原 恒夫 堀内 直人
 倉沢 石根

・産経土木常任委員会関係補正予算

質問 富士マキバ公園について詳しい説明を。

農林課長 現在上九一色村の本栖湖から富士ヶ嶺地区にかけての国道沿いの県有地に約十ヘクタール規模で計画しているもので、地域の畜産事業と観光面での振興を図る目的で整備する。本会議ではその基本構想及び基本計画の策定と先進地視察のための予算補正をお願いするもので、事業主体となる合併協に負担金として支出し、総事業費の半分を県の補助金で残りを町と上九一色村で負担

する。

質問 山梨地産地消事業補助金の内容は、また、朝市の計画は。

農林課長 J A北富士で運営している河口の物産館を地元の農産物直売所としてリニューアルするもので、改装費と販売仕入れ管理の為のコンピュータシステム導入経費の一部を補助する。事業費の四割を県で町が一分割、残りをJ A北富士で負担する。朝市については、今後J A北富士と協議し検討してみたい。

質問 松くい虫の駆除にNPOとかボランティアの活用は。

農林課長 森林セラピーも兼ねた下刈り、間伐ボランティアの募集を検討する。



河口物産館

質問 蝙蝠穴施設整備事業について説明を。

観光課長 ネットチャーターの拠点として、ガイド先の事前勉強としての樹海の洞穴などわかるもの、蝙蝠穴の中を暗視カメラで見ることが出来るもの、蝙蝠のグッズを展示出来る施設を建設予定である。

質問 いやしの里基金について説明を。

観光課長 基金募集の方法としては、本人の申し出、各施設に募金箱の設置、全国を対象としてホームページを活用し、寄付して頂いた方々への基金の集まり情報、事業実施情報など観光課及び町のホームページで発信し



いやしの里

多くの基金集めを図っていく。

質問 カヤの収集対策は。

町長 カヤ場の希少価値全国的にカヤ場の減少、将来的にはカヤの市場性が高まってくると考える。恩賜林の管理地に良いカヤ場があるが、道路状況が悪く現在収集を断念している状況である。恩賜林の事業の一つとして成立つと思う。恩賜林議員さんにおかれましては、定例会等で提言をお願いする。

質問 サクラ公園について詳しい説明を。

建設課長 地区公園整備事業で、長浜地区の富国生命の所有地七万五千三百九十七平米、平米当たり三百円で購入するものである。富士自然動物園協会、日本桜の会の支援を受け苗木の寄贈、管理などにも協力して頂ける事になっている。

所管全般

質問 ぽぶら河口湖隣の更地の利用計画と検討委員会設置について。

観光課長 当初フジテレビのサザエさんという計画もあったが、先方の事情により困難になった。現在、清水アキラさんから、三百人規模の劇場を建設との話があり、事業計画書の提出を要請している。

町長 船津、小立の財産区につきましては、相互理解の中で借入金的扱いをしており、出資とか投資ということではなく、借り入れという形で少なくなとも一千万円ずつ会計簿の中であらわしてあるし、償還をさせていただいている。しかも一％というところで、財産区にはそれなりのメリットをご理解いただきながら進めているので、検討委員会は、執行部と議会の代表者で行う予定である。

ここが聞きたい! いっぱん

質問



朝比奈充 議員

ハイキングコースの整備と文化財の活用について

質問 かつやま道の駅から日影林、羽根子山を通り秋葉神社、大嵐天神社、蓮華寺まで約一キロ程の山道を整備し清水、湧き水の活用をお願いする。

生涯学習課長 現状、小海三叉路より羽根子山へ登る入口が車の通行と重なって道路横断に注意が必要であり、また登り口という雰囲気づくりが大事であるように思う。

かつやま道の駅からのルートと併せて若彦路の活用も考えたかどうかと思う。ご



大嵐天神社

承知のとおり山梨県と静岡県を結ぶ古道は四筋あるが、来年三月に上九一色村南部と合併すると富士河口湖町は、歴史的に重要かつ価値のある古道が三筋となる。若彦路が書物に登場するのは平安時代末期、甲斐源氏の軍勢が平安討伐のため富士の北麓、若彦路を超えて駿河に向かったという吾妻鏡の記事である。富士

河口湖町へ入ってからのルートは大石峠から治エ門屋敷、奥川を渡り、淵坂峠を出て長浜集落に入り、昭和六十一年山梨県教育委員会出版の「山梨歴史の道調査報告書第八集」によると、大嵐地区内の若彦路ルートは天神下から天神峠、そして大嵐地区へ入り旧大嵐小学校東の道路を県道へ向かい、大田和に入った。

この道を歴史の道、信仰の道、火伏せの道、学問の道などと名づけ、それにふさわしいような整備も一案だと考える。時間をいただき、調査をして整備について提案ができればと考える。大石、長浜からのルートも検討しながら平安の昔にタイムスリップした歴史の道の散策となればよいと思う。

町営住宅道路拡幅改良工事について

質問 今の道路は幅員四メートルであり、普通車との交差は十分でなく歩

道もない。最近道路沿いに住宅の建築もあり、地域間の連結道路として早い時期での整備が必要である。

建設課長 河口湖南部地区のまちづく

り交付金事業として町営住宅の建設に併せて実施する。道路形状は、現状の幅員を五メートルとし、片側には二メートルの歩道を設置する計画である。また勝山地区、小立地区への利便



拡幅計画道路

性の向上のため、勝山富士見線歩道二メートルを含み、八・五メートルの道路に拡幅改良し、一部では接続のための新設、約百三十メートルを計画している。沿道に街路灯等の設置も併せて計画している。

今年度の計画は用地測量、実施設計、町営住宅隣接地の道路敷の用地買

業地から合併支援道路までの道路については南北の道路であり西の勝山中央通り、東の都市計画道路「白木里宮線」も計画されていることから、状況をみながら検討していく。

なお、今定例会において事業の早期実現のため、補正予算も計上した。



渡辺余緒治議員

公共施設の耐震対策と防災対策

山梨県は今年五月、今後三十年以内に八十%の確率で起こるといわれている静岡県中西部・駿河湾一帯を震源とする東海地震の被害想定(M8と仮定)を発表した。

それによると、冬の朝五時に発生した場合の被害が最も大きく、富士河口湖町では、
最大死者数 21人
重軽傷者数 272人
全壊家屋数 366棟
半壊家屋数 1775棟
となつている。
また、水道・電気・ガス等のライフライン被害も多数発生し、負傷者のほとんどが壊れた家屋によるものと試算している。

質問 一朝有事には、拠点となる公共施設の耐震対策は。

管理課長 「人は地震で死ぬのではなく家具や柱・梁に殺されるのだ」と言われており、これは、建物の耐震補強がいかに大事で、災害の軽減につながるかを示している。

当町では、「正しく恐れて、しっかり備えよう」を合言葉に、「新防災計画」を策定中である。



小立小学校体育館耐震改修工事

現在、小立小学校体育館を耐震改修工事中であり一つ一つ耐震化を図り

安全を確保していきたい。

町長 未整備のところも多少あることは承知しているが、町民体育館を始め、中学校校体育館等が地域の避難拠点であると考えている。

質問 木造住宅の耐震診断・改修工事の実施状況と指導は。

建設課長 木造住宅の耐震診断は平成十六年十七年度の二カ年で国・県の補助も受け実施している。対象は、昭和五十六年五月以前に建設された木造住宅で、平成十六年度は十軒を実施し、十七年度も十軒を予定していて、五月の広報で内容を周知している。

質問 町内の住宅環境は、山を背負った急傾斜地が多く土砂災害ハザードマップの作成・周知について考えは。

建設課長 平成十三年四月に土砂災害防止法が施行され、山梨県が町内百五十二箇所ある土砂災害危険箇所を基礎調査を実施している。これにより、

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域が指定される。

土砂災害ハザードマップは、旧河口湖町では、平成十二年に全戸配布しているが、新たに富士河口湖町全域の土砂災害危険箇所図を作成し住民周知を図る。

再質問 「安心して住める災害に強い町づくり」また、災害を軽減するための取組みとして町長の所見は。

町長 町の地域防災計画全般の見直しが行進中であり、なるべく早い時期に仕上げていきたい。また、山梨県の土砂災害防止法に基づき防災計画全般の備えをしていく。

六月には各地区で地区防災訓練が実施され「共助」である地域の助け合いの取組みがされている。

災害弱者の救済にも目を向け、各地区の福祉委員や自治会・区単位で取り組みをしていく。また一朝有事の際の機能からも船津地区の三十六自治

会を十三区制とした。

行政と地域の消防団経験者の方々と連携を図り万全の備えをして、民間・各種団体が自ら災害に備える機運を高めながら、各方面で防災対策に取り組む。

乳ヶ崎線(町道)の整備計画

質問 乳ヶ崎線は、小立公園墓地通用道路であり、健康科学大学生・くぬぎ



堀内直人議員

町の特産品の販路拡大について

質問 ヒメマスやニジマスを使って、押し寿司を作り、町の特産品として販売するようだが、又河口地区で生産している赤米、黒米の販路はどのように考えているのか。

農政課長 河口湖古代米

平スポーツ公園の連絡道路であるが整備計画は。

建設課長 乳ヶ崎線の整備計画で拡幅工事については、当面国道一三九号線から三階線の交差点までの約1kmを予定している。それから上についてはその後、実施検討していく。

部分的に道路にはみ出した枝・草等は、町でも対応するが、地権者や財産区等への協力もお願いしていく。

研究会によって、昨年完売となった。温泉旅館組合の協力でさらに増やし



押し寿司

ていきたい。物産館や農の駅で販売する予定である。

観光課長 押し寿司について、命名を「富士桜」として販売の予定である。

自然生活館、ハーブ館、道の駅で販路の拡大に努めていきたいと考えている。

中原淳一美術館の運営、管理について

質問 美術館の運営審議会はどのような活動をしているのか。

観光課長 委員は七名で中原淳一遺族二名、議長小立財産区会長、学識経験者三名、二回の協議会が開かれ、現在は委嘱されていない。

質問 ジンプランニング社と契約しているが。その後、地元の設計者と契約しているが、内容の説明を求めぬ。

観光課長 ジンプランニング社とは、デザイン設計、意匠設計の契約を結び、地元の業者には、建

築確認、公園法の手続き、管理を委託した。

質問 中原淳一の相続人は四人であるが、二人で寄贈契約だけで、残り二人は、契約していないが、その理由は。

観光課長 遺族四人で契約すべきであるが、思うようにいかず、長男、長女との寄贈契約をしたところである。

質問 中原洲一さんの口座に美術館より振り込まれているが、それはどのような金なのか、その説明を求めぬ。

観光課長 入場料の三%の四分の二を、中原洲一氏と中原芙蓉氏に著作権の使用、協力の謝礼として支払っている。

質問 平成十一年九月にオープンした美術館の入館者数はどのくらいなのか。また中原洲一さんの遺族と連携して、今後の運営を考えているかどうか。

観光課長 入館者数は、

平成十二年九月から十二月まで、一万九千九百七十一人、平成十三年一月から十二月まで、四万六千二百四十二人、平成十四年一月から十二月まで、四万六千六百八十六人と

特別顧問 すべて契約をやり直させていただき

たいと申し入れがあるの

湖の監視指導員の協力体制について

質問 町長から委嘱された八百十九人の監視指導員の、今後の取り組み、協力体制は、また早朝、夕暮れ時のパトロールの整備はどのように考えているのか。

町長 八百十九人の皆さんにご委嘱申し上げ、目

標は一千人と定めている。残りの人数は公募制にし、早朝、または夕暮れどきのパトロール体制の充実を図っていききたいと考え



小川清治 議員

富士河口湖町の教育の確立は

質問 合併によって小中学校が増えたが、各校の独自性を生かす特殊性のあるプランを作成し、富士河口湖町にしかできない教育の確立は。

教育長 各校とも独自性を生かす特色のある学校づくりに取り組み、児童生徒の育成を図っている。例えば西浜中学校においての全校太鼓は、創造性や忍耐力を養い、仲間との友情を育み、活動を通して得た自信をそのまま学習活動に生かすことができる。また、勝山中学

ている。今後は、一定の時期を見ながら、団体ごとの講習会等を行なっていくたいと思っている。

校では、今年から全校生徒に漢字の検定試験を受験させることになり、国語力の向上を図っている。

この取り組みは勝山中学校の特色ある教育活動になるものと大いに期待している。次に小立小学校では、開かれた学校の一つの例として、保護者に図書館ボランティアをお願いする取り組みを行っている。これは読書活動の活発化を図り、国語力の向上を指導重点目標としている。船津小学校では、アンケートにより家庭教育の実態を調査し、結果を踏まえて保護者を対象にした啓蒙・啓発のための教育活動計画を立

てている。家庭教育がしっかり行われることよって学習により効果があると思われることは、先の全国学力調査が示しており、子供をよくするためには、まず親の意識改革から始めることが、懸命であるからである。各学校が取り組む特色ある教育活動が充実、発展することが、やがて富士河口湖町ならではの教育活動が展開されることと確信できるのである。

教育センターでは

質問 教育ルネサンスが叫ばれている時、今年度より始動した教育センターがこの一環たと思いが、現場においてはどのような活動があるか。

教育センター長 目的は、町内の児童・生徒のために何ができるか、何をなすべきかに尽きると思い、四本の柱を考えている。一つは、調査・研究で、理科副読本を作成中である。多彩で豊かな

自然環境と富士山を中心に自然の形成とそこに起る環境問題について、何に取り組みばよいのかを狙いとしている。また、富士山の火山防災面も盛り込んである。二つには、学習に関することで、地域を生かした体験活動のプログラム化を進めている。小学校では学習指導に役立つ体験、中学校では、キャリア教育の必要性が叫ばれている中、職場体験をより充実するものとして、各校への支援を行う。三つは教職員への郷土学習の実施と、家庭の教育力や児童・生徒の生活の実態調査を行い、食事、運動、休養、睡眠の状況や家庭での余暇時間の利用についての内容調査をして、問題点を把握し改善するための講演会やフォーラム等を実施



教育相談員による講演会

する。最後に教育相談に關しては、相談員を配置して父母、児童・生徒、学校職員を対象として幅広い相談活動を実施している。

習慣化することができる。町としては、学校ではできないことをセンター長はじめメンバーの方にプロデュースして頂き、学校単位で、家庭において



高山泰治議員

区制について

質問 平成十七年一月より施行された区制の現状と未施行地区の予定は。

管理課長 東海地震や富士山噴火等の災害の予測を踏まえ、自主防災組織の一層の活性化の必要や安全で安心なまちづくりのための防犯体制の確立、又健康と相まって、町民の健康づくりを推進する必要性により、本年施行された行政区長制度であるが、四月によりやく設立することができ、各区長、自治会長との顔合わせ、話し合いが行われた。区制度の必要度を再認識し、区長さんには、各自治会間の調整、又町に対して大所高所より意見等をお願いし旧自治会単位も大事にという意見と自治会組織は解消し、区制度だけ推進との意見がある。当面、防災、防犯、健康推進等その都度の事案について、各区長の高所からの見識をお願いし、住民への行政サービスについて

町長 OECDの学習度到達状況のデータによると国際的にランクが、数学においては六位に落ち込み、読解力では十四位に落ちたとの報告があり憂慮すべきことと感じている。昨今の家庭での教育は放置主義が実態であるかと思受けられるが、これについては、子供と一定の約束をすることで

の子供教育の仕方を再認識し連携を図るべきである。また、魅力ある独自性を持った学校運営を今後も求めていくべきである。

では、従来どおり自治会長を通して、サービスを先行い区制度がこれからの地区への行政サービスは、従前どおり、自治会長にお願いするところである。船津、浅川、小立、勝山、足和田での区制度が整ったので、大石、河口地区での区制の推進を地元と協議する中で図っていく。

河口Ⅱ期バイパスと新倉トンネルについて

質問 河口Ⅱ期バイパス

の建設工事が本格的に始まり、その容姿が姿を現し、地区住民の長年の夢が、あと数年でかなえられ、喜ばしい限りである。バイパスの完成後に、新倉トンネルの着工が約束されている。新聞によると、本年度に新倉トンネルの調査費が計上された。

町長 新倉トンネルについては、新聞報道で調査費が約一億円ついたという報道があった。新倉トンネルについては、富士山火山防災、いわゆるハザードマップ作成の時点で富士吉田を中心に人口五万五千人を有する富士吉田市民が火山で一朝有事の際に避難はどうあるべきか、御坂を越えて、甲府盆地へ避難するには新倉トンネルという意味での火山防災を含めての避難道路として早期着手



河口Ⅱ期バイパス工事現場

河口Ⅱ期バイパスと新倉トンネルの同時完成が夢でなく現実となるかと関係市町村との合同による政治的な働きかけが必要と思えるがどうか。

が必要であると富士山火山防災連絡協議会等で話し合われ、私自身も主張した一人である。

山梨側にあつては、避難道路ということで国土交通省に届いていると認識している。地元の国會議員の働きかけで、調査費がついたということと私自身喜んでいい。

新倉トンネルの計画予想図が図面上、平面図で出た時点で、役場で説明会を開催すると思う。計画の進行は住民意識をくみ上げた中で考えていきたいと思う。船津浜の観光業者が、河口湖大橋の無料化で車の乗り入れが減少し、商売への影響が危惧される状況である。

新倉トンネルの完成による観光客の減少等で住民意識の中で幅広く町中の説明会を一堂にした中で県の説明会の方向へ取り組んでいきたいと思う。河口地区の熱意、待望論があると思うが、総合的に町全体の今後を考えた中で判断する時期がきている。



古屋一哉 議員

船津地区（特に、七軒町三丁目、富士見町一、三、四丁目、高尾南）において、水圧が少なく生活に支障をきたしている住民がいるが、水道課長 給水区域の見直しを早急に行い、低水圧地域の解消を図るべく計画をして行く。

質問 船津地区において、水道の圧力が少なく、シヤワーがほとんど機能しない、二階のトイレになかなか水が揚がらない、当然水の出しが悪い等々、地域住民、特に、七軒町三丁目、富士見町一、三、四丁目、高尾南等から多くの声を聞いている。現状として、朝夕、風呂の時間など、相当水の出しが悪く、タラタラ状態の時もあり、個人で、加圧ポンプを設置し、対応してい



丸山貯水池

る家もある。丸山貯水池が近くにあり、水は、上から下へ流れるのにどうしてなのかと不思議に感じている住民もいるかと考える。「行政は住民へのサービス機関」であり、「お預かりした税金」を「行政サービスとして有効に

要望 水圧が低く困っている住民がいる訳ですから、計画しているとかではなく、何らかの方法でも一刻でも早い処置を講じるべきで、地域住民が望んでいることでもあるので、行政の姿勢としてきちんとした早急な対応を望む。

政サービスとして有効に

お返しする」なおかつ、公平に、サービスを供給することが、行政の大前提であると考えます。サービスの公平性の面から一刻も早く水圧の改善を図っていくことは、重要課題であると考えます。町としての、基盤整備の一環として、すべての住民が富士河口湖町は住みやすいと感じられるように、水圧の改善に向けた取り組みと今後の計画方針は。

たな給水の動脈として口径三〇〇ミリの配水管をインター線工事と並行して敷設し給水量の増加を図るとともに、善郷塚水

系、丸山配水系統の給水区域の見直しを早急に行い、低水圧地域の解消に向け、バルブの調整も含め、計画していく。

ぽぷら河口湖（旧グランドホテル）及び旧館跡地（二千坪）有効利用について
観光課長 ぽぷら河口湖は、もともとホテルであったので、河口湖温泉旅館組合等に、夏の受入れ重要などを問題提起しながら検討をして行きたいと考えている。
町長 旅館組合、関係団体等と協議し、委託方式あるいは直営方式を選び秋頃までには方向付をしていきたい。

水道課長 指摘された地域は、以前より水道の水圧が低い状態にあり、低水圧を改造すべく配水池からの加圧ポンプ設置、配水管の改善改良工事を行ってきたが、この地域の給水対応は、年々増加し、五年前と比較して世帯数にして四〇〇世帯増えているが現状であり、低水圧の一因である。新

質問 旧グランドホテルを、六億円で購入し、新館五階建て（五〇〇坪）を、ぽぷら河口湖と名づけ、合併協等で利用してきました。五、一九二万円を投じ旧館を解体し、一千坪に及ぶさら地になっているのが現状であり、投資対効果の面からも、早急に利活用を考えていく必要があると思われる。そこで、今後、ますます外国人旅行者が増えて行くものと考えられる中、一年を通し、多くの外国人観光客を迎えいれる施

設としての利用の考えは。
観光課長 河口湖温泉旅館組合等に、夏の受入れ重要などを問題提起しながら検討をして行きたいと考えている。



ぽぷら河口湖

かやぶきの里 京都・美山町

美山町

この町は、京都府のほぼ中央にある豊かな緑ときよらかな水の流れをもつ自然美豊かな農山村地域である。町の面積は、340.47km²で府内の町村で一番大きい町である。

川に沿って建てられた民家のうちおよそ250棟は、昔ながらの茅葺き民家で、特に北集落は茅葺き民家が多く残り、自然景観と茅葺き民家がうまく調和して農村の原風景ともいべき風情を呈している。この集落は、文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。

「茅葺き集落保存と観光振興」と題して、観光カリスマで美山町前助役である小馬勝美先生から講演を聞いた。

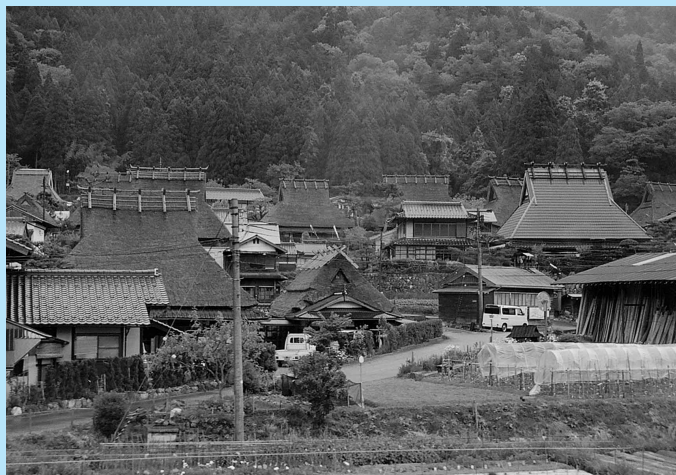
中山間地の観光振興へのこだわりは、観光でなく、感じて人間と人間が交わる感交である。特に都市交流で、人が訪れて初めて価値観を見出す施策をすすめながら美

山町を再構築していくのに7年の時間がかかった。

美山町らしさを安売りすることなく、本当に訪れてほしい人を大切にしながら、「まちをどのようにしていくか」をテーマに論議を重ねた。

また、都市に住んでいる人の力を取り込み、農村の特長をうまく組み合わせて乗り越えることができた。結果として幾度となく美山町を訪れるリピーターを得ることができた。「リピーターの中には自然志向を重視する人、記者、マスコミ等をうまく取り込み、交流から積み重ねディスカッションを重ねて情報を発信していくことができた。」とまちづくりの体験談であった。

富士河口湖町では、西湖畔根場にいやしの里づくり原風景の創出



茅葺きの風景

事業をすすめている。年間を通じてイベントを開催し、観光交流の場として地域の活性化を図っていくなかで、今後のまちづくりに貴重な体験談を活かしていきたいと感じた。



前助役 小馬勝美氏

士河口湖町として現在導入を検討している。

教育関係

栗東市の平成17年度教育費予算は前年比21.5%（約9億円）増で各種項目でもトップの伸び率を示し、更なる少人数、学級を進め高

度な教育指導を重点施策として進めている。また、校舎の耐震化も進め、特長のある教育を目指している。



栗東市総合福祉保健センター「なごやかセンター」

兵庫県 淡路市

京都府 美山町

目で見て体で感じた 阪神・淡路大震災を起こした野島断層



野島断層保存館

北淡町野島断層震災 体験について

昭和51年（1976年）地震予知連絡会において、東京大学の石橋先生が、「東海地域でマグニチュード8クラスの巨大地震がいつ起きても不思議ではない。」と東海地震説を発表。

以来30数年間、観測データの蓄積と同時に東海地震の震源域が明らかになるなど、科学的知見の進

展も得られた結果、正確に東海地震発生の状況が想定されるようになった。

私達議会では、兵庫県淡路市の野島断層保存館を見学した。

北の江崎灯台付近より南は富島地区まで、長さ約10kmに渡り山側の地面が1mから2m右横にずれ、50cmから1m20cm隆起している。これで活断層が再び動いたことがわかる。

野島断層のずれはさまざまな形で地表に現れており、学問的にも大変重要貴重である。さらに断層や地震への社会的な関心も高く、活断層に対する正しい理解が必要である。

野島断層保存館には震災直後の野島断層や地震に関する展示があり、震災体験館では地震の揺れや凄まじさを体で感じることができ、

目で見て体験できるセミナーハウスでは野島断層をはじめ、活断層や震災について、いろいろ学習体験ができた。

震災により、海岸沿い、あるいは国道沿いに面し、長さ10kmに渡りさまざまな形をした断層が地面に現れた。

案内人によれば、けが人は何人かあったものの一人の死者もなかった。地域の消防団が隣り近所の住民の様子を良く把握しており、消防団員の機敏な活動が老人や子どもを助け、住民に安心感をあたえた。ご婦人達の炊き出しもあり、一人一人の協力で難関を通り抜けることができた。



野島断層

総合福祉保健センターを指定管理者制度に

福祉・保健・医療の 先進地を視察

今回は滋賀県栗東市である。

当市は県の南部に位置し、京阪神への通勤圏として住宅の整備が進み、人口が増加している。昭和29年の合併により栗東市が誕生した。合併時15,426人と比べて、

平成17年4月現在60,407人と約3.9倍に増加している。

特長は福祉と教育を重点に施策を進めている。平成15年に地方自治法の改正により「指定管理者制度」が制定された。この制度は地方公共団体の指定を受けた「指定管理者」が管理を代行する制度である。

当市では総合福祉保健センターを約15億円で完成させ「児童」「障害者」「高齢者」の福祉施設の充実に努める一方、保健センター各種相談窓口を設置し「指定管理者」制度で「保健・福祉・医療」が一体となり運営している。

山梨県でも今年34施設を「指定管理者制度」を導入実施した。富

4月

- 1日 全員協議会
- 10日 町消防団出初式
- 11日 全員協議会
- 14日 鳴沢村議会視察研修
- 22日 第4回臨時議会
- 28日 文教社会常任委員会
- 28日 甲斐のかつやま やぶさめ祭・町民皆歩

5月

- 16日 防犯パトロールカー始動式
- 17日～19日 議会議員視察研修 (栗東市・美山町・淡路市)
- 23日 第5回臨時議会
- 30日 正副議長・委員長研修会
- 31日 南北都留郡正副議長連絡協議会設立総会

6月

- 7日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会・全員協議会 6月定例会開会本会議 (条例・補正予算)
- 14日 本会議 (一般質問)
- 15日 総務常任委員会・文教社会常任委員会
- 16日 産経土木常任委員会・定例会 (委員会報告)
- 17日 ハーブフェスティバルオープニング
- 19日 西湖ロードレース
- 21日 定例会閉会
- 28日 生涯学習館・子ども未来創造館起工式

議会を傍聴

しましゅう!!

次の定例会は9月です。

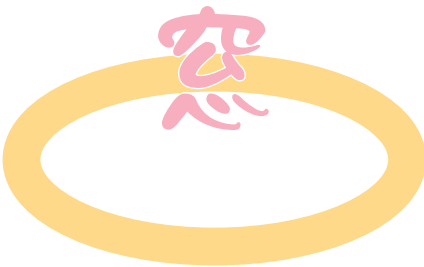
役場の議会事務局で住所氏名を記入すれば、どなたでも傍聴できます。

我が家の朝



「何しているの！早く起きなさい。」
静かに流れていた朝の時間が、急にバタバタと動き出す我が家の

朝。(遅刻しても自分の責任だよ。)と思ひ、一度は大声を出すのをためらうのだが、時計の針が進むにつれ、イライライラ。やはり、大声で叫んでしまうのです。
「学校に行かないの!?!」子供のしつけをする時に大切な事は、「教えるべき事は何でも伝え、繰り返しきちんと教えたなら、子供の中にその事を積極的に実行しようとする気持ちや機能が熟してくるのを子供まかせにして待つて



あげること」なのだそうです。これは、「子どもへのまなざし」と

今の子供たちに一番欠如している自律心(「自分の衝動を自分でコントロールする、自分で自分を律する力」)を育てるには、待つ育児をすることなのだそうです。
とはいっても限られた時間の中で、ゆったりと子供まかせに待つことの難しさを身にしみて感じている今日この頃です。
ゆっくりと時間の流れる爽やかな朝を願いつつ、今日も「早くしなさい！遅刻するよ。」

の大声が響く我が家の朝が始まるのです。

富士河口湖町勝山

九八〇の一
流石恵子



谷崎潤一郎石碑とさくや愛の鐘

編集後記

「光陰矢の如し」早や半年経過し、春先から初夏にかけて、今年も新緑の季節の中、白い花が特に目立ちました。
六月の定例会も一般質問及び委員会での活発な議論が展開され充実した定例会でありました。我が議会だよりも更なる研鑽を積み、町民の皆様満足して頂けるよう努力して参ります。

編集委員一同



天上山のあじさい